

栗山公園が リニキュールオープン

中心市街地の活性化事業として再整備を進めていた栗山公園が、既存の蒸気機関車 D51のほかに、親水施設や桜の広場、ミニ蒸気機関車用の線路などを設置した新しい公園に生まれ変わりました。



生まれ変わった栗山公園

**おなじみの蒸気機関車
D51は新しい車庫へ**

中心市街地の活性化事業として平成14年度から再整備を進めていた栗山公園が今年4月1日にリニキュールオープンしました。

親水施設・園路・桜の広場などがあり、市の花であるアジサイも約2,000本植栽し、また、既存の蒸気機関車 D51も新しい車庫に展示し、新たにミニ蒸気機関車用の1周約160メートルの線路を設置しました。

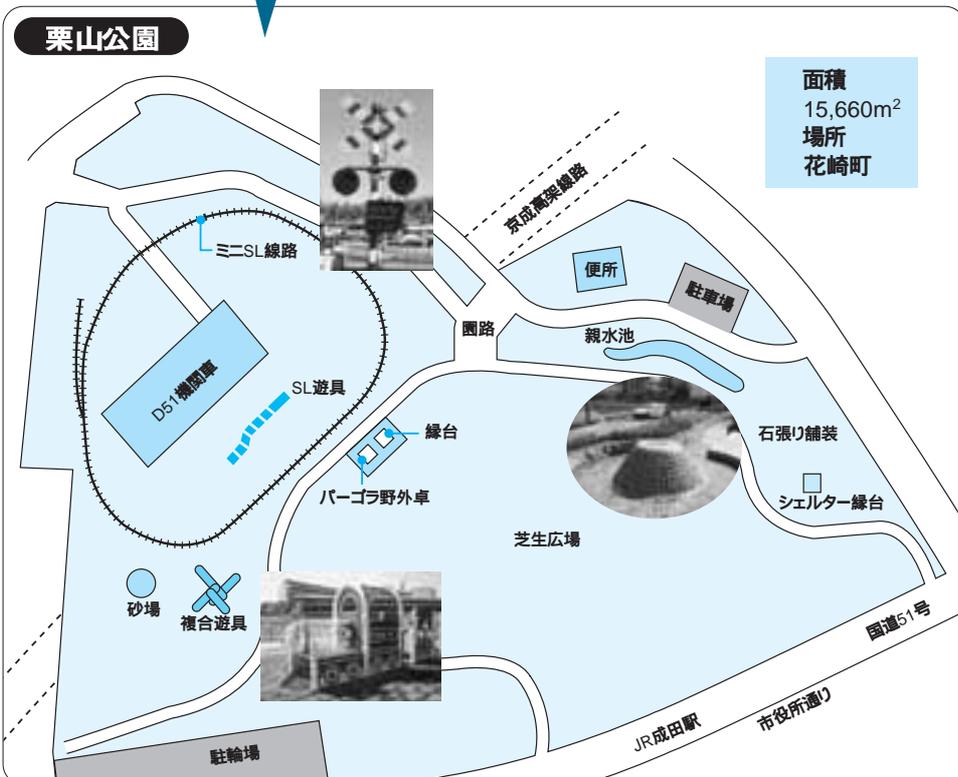
**市制50周年記念として
ミニ蒸気機関車を運行**

来る5月22日(土)には、公園のリニキュールオープンと市制50周年記念のイベントとしてミニ蒸気機関車の運行を行います。午前10時30分から12時まで、午後

は1時から3時まで乗車できます。市内初の施設ですので皆さんお誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。

なお、当日は市役所の駐車場が利用できますが、混雑が予想されますので、なるべく公共交通機関のご利用をお願いします。

くわしくは公園緑地課 ☎20・1562へ。
ホームページアドレス
<http://www.city.naria.chiba.jp/>



D51型 蒸気機関車 について



昭和11年(1936年)から昭和19年(1944年)の間に国鉄最多の1,115両が製造されました。日本全国で使用され、通称「デゴイチ」と呼ばれる本型は、蒸気機関車の代名詞となりました。このD51は、貨物列車用として設計・製造されたもので、強力なけん引力をもっています。山岳地方では旅客用としても活躍しました。

「D51 609」とは四つの動輪(けん引力をもつ大きな車輪)をもつ51型テンダー機関車(炭水車をつないでいる機関車)のことで、この型のうちで609番目に製造されたということです。